



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1638号

会 長	横澤 創	会長エレクト	岸 幸博	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	松崎正実	幹 事	入江公敏		大和中央ビル 301
会報委員会	小柳智裕	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	古郡 清	石川達男			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

Peace Through Service
「奉仕を通じて平和を」 RI会長 田中作次

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

週一度 みんなに会える 楽しみ

【本日のプログラム】9月13日卓話「東日本大震災・TOMODACHI作戦」牛尾多旗緒氏(元厚木基地渉外部長)
【次回予告】9月20日 卓話 「元気のあるアジア市場」 谷下 喬一 氏

【第1633例会】平成24年9月9日(日) 第1回家族移動例会「大江戸文化体験ツアー」
東京スカイツリー見物～大相撲秋場所観戦～例会(懇親会)「向島割烹・水の登」

第一回家族例会「大江戸文化体験ツアー」～ ～大相撲で力士とふれあい向島で旦那の気分～

ゲストの皆様

- 齊忠良様(米山奨学生)
- 古郡 京子 様
- 橋本 誠子 様
- 飯田 登美子 様
- 松崎 祐子 様
- 中島 篠子 様
- 野口 陽子 様
- 野口 岳人 様
- 梅田 安代 様

ご参加頂きありがとうございました

東京スカイツリー見物



大相撲秋場所観戦



向島割烹・水の登



			前々	出席免除	欠席者 7名(敬称略)
40名	28名	80.00%	86.49%	7名	阿萬、橋本吉宣、原嶋、岩松、北島、中西、鈴木

スマイルボックス 岸 幸博 委員長

本日 ¥30,000 累計 ¥229,450

女性参加者一同

本日はお相撲をカーキヤーとギャルに戻って楽しませて頂きました。親睦の皆様ありがとうございます。

中島 條子 様、中島 康次郎 君

本日は初めて参加させて頂きます。先日の母の葬儀には誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。

横澤 創 会長・入江 公敏 幹事

本日は、素晴らしい企画で楽しい一日を過ごしました。親睦委員会の皆様、本当にありがとうございます。

後藤定毅君、伊藤英夫君、長野俊八君、古郡清君、辻彰彦君、高橋清君、番桂柳君

東京スカイツリー、大相撲、高級料亭を楽しみ、最高の気分です。ありがとうございます。

松崎 正実 君

親睦委員会の皆様、今年1年ご苦労様です。楽しい会を期待しております。本日はありがとうございます。

館盛 道明 君、神作 彰 君

本日はご苦労様でした。

青柳文四郎君、高橋政勝君、石川健次君、山崎賢二君

今日は楽しく過ごすことが出来ました。親睦委員会の皆さんご苦労様です。

岸 幸博 君

梅田委員長初め親睦委員会の皆様、ご苦労さまでした。

梅田秀雄君、北砂明彦君、引田俊一君、

富澤克司君、石川達男君

親睦委員会より、本日は多くの皆様に出席して頂きありがとうございます。つたない設営でしたが、また次回も宜しくお願いします。



No.2

クラブ研修リーダー 後藤 定毅

出席について?!

ロータリーで出席をやかましく、そして厳しく言うのは、会員みんなの出会いの場を尊重するからです。よほどの人でない限り、中々一人では、自分をみがくことはできません。どうしても自分をみがくには、人と人との出会いが大切です。その出会いの場を保証するのがロータリーの例会であり、ロータリーの集まりなのです。すなわちロータリーというのは、一業一会員制をもって選ばれた職業人同士が、週1回の例会やその他の会合で他の人と出会い、親睦の中にみんなと相和して、みんなの発想交換の中から自己研鑽をしていくというところに、その意味があります。

したがって、ある人がロータリーの例会を欠席することは、その人がロータリーの例会を休んだために、あらゆる地域社会の代表的な職業人にお会いすることが出来なくなる、本来出席していればそこから得られたはずのその人自身の向上の可能性が遮断されてしまうので、その限りにおいてはその人の進歩が止まってしまうことになる、と考えます。その逆にその人が休んだために、その人以外のロータリアンの方々に、その人から流れて行く発想を受けることができないようにしてしまうことになり、その限りにおいてその人以外の全ての職業人の進歩を止めてしまうことにはなるのではないかと、考えます。要するにロータリーの例会出席は、良質な職業人の出会いを保証し、自覚を高めるための出会いを保証する場ということで、例会を通して自己を磨くことを呼びかけ、自己改善ということをロータリー運動の根本において考えることを、忘れてはならないから、「出席」を最重要視するのです。

業界や地域、得意先や仕入先、さらに趣味やスポーツの集まりでもない倶楽部組織であるロータリーに身を置いている私たちロータリアンにとって、ロータリーで「奉仕の理想」のために、どのような、そしてどの程度の自己研鑽をとげるかということは、メンバー個々の良識に任されています。ポール・ハリスも言っていますが、「ロータリーの中に夢を求めるものには夢が与えられ、その夢の内容は千差万別であり、その夢の程度も千差万別である...」と。だから去年よりは今年、今年よりは来年と、ロータリーの「出席」を通して、多くの夢を膨らませていくことができるかどうか、要はロータリーの出席の意義を理解できるかどうかは、「あなたしたい」「じぶんしたい」ということになるのではないのでしょうか。